



02 基本機能

ご使用前の準備	21	テキストの入力	29
充電器を接続して充電する	21	予測テキスト入力 (eZiText)	30
SIM カードの取り付けかた	21	辞書	30
電源を入れる／切る	22		
PIN コードを入力する	22		
キーパッドのロック／ロック解除	22		
ディスプレイ	23		
ディスプレイの表示	23		
アイコン	23		
ソフトキー	25		
ショートカット (ナビゲーションキー)	25		
電話をかける／受ける	25		
電話をかける	25		
電話を受ける	26		
通話中の操作	27		
HPA (高透過性アラート) について	27		
多者通話機能	28		

02 基本機能

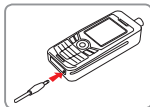
ご使用前の準備

充電器を接続して充電する

電池パックを完全に充電した状態でお使いいただくために、電池消耗時にはできるだけ早く充電されることをおすすめします。

充電のしかた

- 1 充電器に、所在国専用の変換アダプタを差し込みます
- 2 本機の底にある外部接続端子カバーを開きます
- 3 充電器のケーブルを、充電端子に差し込みます



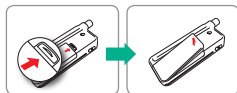
- 4 充電器のアダプタを、AC 電源に接続します

SIM カードの取り付けかた

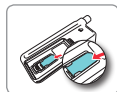
SIM カードの取り付けは必ず電源を切ってから行ってください。

SIM カードを取り付ける

- 1 本機の電源を切ります
- 2 電池パックを取り外します



- 3 SIM カードを図のように挿入します




- 4 電池パックを取り付けます



電源を入れる／切る


電源を入れる

1 を長押し (3 秒間) します

- 電源を切るには、再度  を長押し (3 秒間) します。初めて電源を入れたときは、セットアップウィザードの画面が表示されます。画面に従って設定を行ってください。セットアップウィザードは設定メニューから起動することもできます (P.64)。

PIN コードを入力する

SIM カードには PIN コード (4～8 桁の暗証番号) が設定されています。お買い上げ時の番号は、ソフトバンクより提供されますが、お客様自身で変更することができます (P.67)。

- PIN コードはキーボードを使って入力します。入力した数字は (*) などで画面に表示されます。
-  を押して PIN コードの入力を確定します。

注意

- PIN コードの入力を 3 回連続して間違えると、本機がロックされて使用できなくなります。この場合は、PUK コードを入力し、ロックを解除してください。

キーボードのロック／ロック解除

キーボードをロックして、誤って電話をかけてしまうなどの誤操作を防止できます。ロック中でも、電話を受けることはできます。

キーボードのロック方法

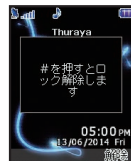
1 を長押しします



キーボードのロック解除方法

1 (解除) を押します

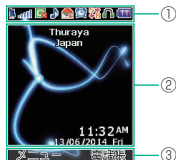
2 を押します



02 基本機能

ディスプレイ

ディスプレイの表示



① インジケーター領域

動作状態、状況を表すアイコンが表示されます。

② メインエリア

通話に関する情報（ステータス）、メニューやそれらのサブメニュー、電話帳やSMSの編集画面などが表示されます。

- ・メインエリアに「緊急通報のみ」と表示されている場合は、通常の電話発信はできません。海外の一部の国で、その国の緊急機関へ発信できます。

③ 利用可能なソフトキーの機能

表示中の画面で利用できるソフトキーの機能を表示します (P.25)。

アイコン









■インジケーターアイコン

信号の種類	
	SAT
	HPA
充電残量	
	充電残量なし
	充電不足
	充電あり
	充電完了
HPA 強度*	
	HPA シグナル低 - HPA シグナル強
信号の強さ	
	SAT シグナル 1
	SAT シグナル 2
	SAT シグナル 3
	SAT シグナル 4
	SAT シグナル 5

通話／通信状態	
	通話中
	ミュート
	暗号化 OFF (通話暗号化 OFF) <ul style="list-style-type: none"> 通話暗号化が OFF の場合にこのアイコンが表示されます。本機とネットワーク間の暗号化機能が動作していない状態ですので、注意してご使用ください。
	GmPRS 一時停止
 (点滅)	GmPRS 接続中
	外部デバイスとのデータ送受信中
	GPS 測位中
通知	
	未読 SMS あり
	スケジュールあり
	留守番電話あり
	SMS 受信箱が一杯
	マナーモードオン
	留守番電話と SMS あり
	アラーム設定中
	転送電話設定中

* HPA : High-Penetration Alerting

■ソフトキー表示アイコン

	確定
	スピードダイヤル
	保存
	やり直し
	リスト
	編集
	検索
	表示

02 基本機能

ソフトキー

表示中の画面で利用できる各キーパッドの機能は以下のとおりです。

- ソフトキーの機能は表示している画面や利用している機能により異なります。



- : 選択 / メニュー / オプション
- : OK / 保存 / 表示 / 検索
- : 戻る / 削除
- : 左 / 右方向にカーソルを移動する
- : 上 / 下方向にカーソルを移動する
- : 待受画面に戻る

ショートカット (ナビゲーションキー)

待受画面でナビゲーションキーを押すと、以下の機能を表示できます。



- : ツール
- : 位置情報
- : 連絡先の検索
- : メッセージの作成

電話をかける / 受ける

電話を利用するときは、信号 (SAT シグナル) を十分に受信していることを確認してください。

電話をかける

キーパッドで電話番号を入力するか、保存した連絡先を選び電話をかけます。





1 キーパッドで電話番号を入力します


- 電話の発信元、相手先により発信方法が異なります。以下を参照して電話番号を入力してください。

発信元	相手先	発信方法
ソフトバンク 衛星電話	ソフトバンク 衛星電話	[XXXX-XXXX] (「88216」を除く 8 桁) ※ 上記でつながらない場合は 「+ (または「00」)」 - 「88216」 - 「XXXX-XXXX」
	携帯電話 固定電話	日本の 事業者 携帯電話: 「090/080」 - 「XXXX- XXXX」 固定電話: 市外局番 - 「XXXX-XXXX」 ※ 上記でつながらない、もしくは発信元 が海外にいる場合は 「+ (または「00」)」 - 「国番号 ^{*1} 」 - 「相 手先電話番号 ^{*2} 」
	海外の 事業者	「+ (または「00」)」 - 「国番号 ^{*1} 」 - 「相手先電話番号 ^{*2} 」
携帯電話 固定電話	日本の 事業者	「+ (または「010」)」 - 「88216」 - 「XXXX-XXXX」 ※ 固定電話の場合「+」が入力不可のため 「010」のみご利用できます。
	海外の 事業者	「+ (または「国際電話アクセス番号 ^{*3} 」) - 「88216」 - 「XXXX-XXXX」

- ※ 1 国番号は国ごとに異なります。(日本の場合:「81」)
- ※ 2 相手先の電話番号が「0」で始まる場合には「0」を除いてください。
- ※ 3 国際電話アクセス番号は発信者のいる国ごとに異なります。(日本の場合:「010」)


メモ

- 国際通話を発信するには、「+」記号が表示されるまで  を押してください。記号が表示されたら、国番号、相手の電話番号(先頭の「0」を除く)の順に入力してください。
※先頭が「0」でない場合には「0」を除く必要はありません。
-  を1回押して「*」記号を入力したり、 を2回押して「P」を入力したり、 を3回押して「W」を入力したりできます。

2  を押します3 通話が完了したら、 を押して終了します



電話を受ける

電話が着信すると、本機は次のように動作します。


- 設定している着信音になります。
-  が点滅して表示されます。
- 発信者の電話番号が表示されます。
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合、登録した名前が表示されます。
※ 発信者が番号非通知で発信している場合には表示されません。

1  を押します

■ 電話を拒否する

 または  (拒否) を押します。

■ 着信音を消音にする

 (消音) を押します。

02 基本機能

通話中の操作

201THには、通話中に利用できるオプションメニューが数多く用意されています。オプションメニューを利用して「保留」または「ミュート」機能などを利用することができます。



メモ


- ・通話中に着信があった場合、を押して拒否できます。
- ・通話中の音量は  を使って上げる／下げることができます。

HPA（高透過性アラート）について

201THは電波の受信状況が良くない場合でも、HPAモードを利用して電話の着信をお知らせします。この機能は201THのアンテナを折りたたんだ状態でポケットにしまっているときや、衛星電波の受信強度が低いときに役立ちます。



HPAモードでの電話の受けかた

- 1 衛星電波を受信できる場所へ移動します
- 2 アンテナを完全に伸ばします
 - ・電波の受信状況が十分に良くなると、HPAの警告は画面に表示されなくなります。これで、通常どおり  を押して電話を受けることができます。

多者通話機能

電話を受ける

通話中に電話がかかってきたときに電話を受けることができます。

- 1 通話中に着信があったら (受話) を押します
 - (拒否) を押すと着信を拒否します。
 - もともと通話中だった相手は保留状態となります。 (メニュー) を押してメニューを表示し、「**切替**」を選択して通話相手を切り替えることができます。「**複数のグループ**」を選択すると接続中の相手全員と同時に通話できます。最大6人まで同時に通話可能です。



- 2 通話が終了したら を押します
 - 複数の相手との通話を終了するには (メニュー) を押してメニューを表示し、「**すべての通話を終了**」を選択します。

電話をかける

通話中に他の人に電話をかけることができます。

- 1 通話中に (メニュー) を押してメニューを表示→「**通話を追加**」を選択します



- 2 相手先の電話番号を入力し を押します
 - もともと通話中だった相手は保留状態となります。 (メニュー) を押してメニューを表示し、「**切替**」を選択して通話相手を切り替えることができます。「**複数のグループ**」を選択すると接続中の相手全員と同時に通話できます。最大6人まで同時に通話可能です。
- 3 通話が終了したら を押します
 - 複数の相手との通話を終了するには (メニュー) を押してメニューを表示し、「**すべての通話を終了**」を選択します。

プライベート通話

多者通話時に特定の相手と個人的な話をしたい場合は、プライベート通話を利用します。

- 1 通話中に (メニュー) を押してメニューを表示→「**プライベート**」を選択します
 - プライベート通話中の相手以外は保留状態となります。

02 基本機能

テキストの入力



テキストの入力時に表示される **ABC**、**abc**、**aBc**、**あ**、**ア**、**123** は選択されている文字入力モードを表します。**123** は数字モードを表します。使用可能な文字の入力形式は次のとおりです。

ABC：大文字

abc：小文字

aBc：大文字+小文字

あ：全角ひらがな、漢字

ア：全角カタカナ

ア：半角カタカナ

123：数字

SVM：記号

eZi：eZiText オン

ENG JPN：英語、日本語

文字を入力する

- 入力する文字が表示されるまでキーボードを繰り返し押します。キーボードに印字されている文字以外にも入力できる文字は多数あります。
- 数字を挿入するには、キーボードを長押しします。





■濁音・半濁音の入力

- 全角ひらがな、漢字入力時は該当する文字のキーボードを繰り返し押しするか、該当の文字を表示させて **あ** を押すと入力できます。
- 全角カタカナ入力時は該当する文字のキーボードを繰り返し押しすと入力できます。
- 半角カタカナ入力時は **ア** を押すと入力できます。





文字入力モード

- 文字入力モードを切り替えるには、**あ** を押します。
- 文字入力モードを [全角ひらがな、漢字] に設定した場合のみ、文字を変換することができます。

スペース／記号／句読点の入力


- スペースを挿入するには、を押します。文字入力モードをアルファベットの「大文字」、「小文字」、「大文字＋小文字」、「半角カタカナ」に設定している場合は、半角スペースを入力できます。
- 記号を入力するには、を押します。英語入力時はにも記号が割り当てられています。（メニュー）を押して「記号入力」を選択しても記号を入力できます。



- 句読点は文字入力モードを「全角ひらがな、漢字」に設定し、文字を入力後、変換候補が表示された状態でを繰り返し押すと入力できます。
- 201THでは絵文字のご利用はできません。絵文字をメッセージなどで受信した場合も正しく表示されません。
- 入力する文字が同じキーに配列されている場合は、カーソルが文字の右側に移動するまで待ち（またはを押してカーソルを文字の右側に移動させてから）、文字の入力を続けます。
- 文字を削除するには、（クリア）を押します。すべての文字を消去するには、（クリア）を長押しします。

予測テキスト入力（eZiText）

予測テキスト入力（eZiText）は英語入力時のみ利用できます。

- テキスト入力画面で（メニュー）を押してメニューを表示→「eZiText」と選択します


キーを1回押せば各文字を入力できるようになります。


文字の一部を入力すると、内蔵の辞書に基づきこれから入力する語句に関連する候補を予測します。辞書には新たに60単語まで追加することができます。

- たとえば、「Phone」と入力する際は、7を押して「P」を、4を押して「h」を、6を押して「o」を、6を押して「n」を、そして3を押して「e」を選択します。

辞書

eZiText エンジンには新たに60単語まで追加することができます。登録した単語はeZiText入力時の入力候補として表示されるようになります。

- テキスト入力画面で（メニュー）を押してメニューを表示→「辞書」と選択します

- 辞書が表示されたら（メニュー）を押してメニューを表示→「追加」と選択して、新しい単語を追加できます。

